

町民のひるば

最優秀作品

(水道施設見学) (感想文コンクール)

水道見学

横芝小学校四年



大木孝利君

水道見学の日、本当は、九十九里地域水道企業団の、東金浄水場に行くはずだったのに、変こうしたのでがっかりした。でも、光浄水場も、きれいでとてもよかった。最初の説明は、だいたい「山武水道」に出ていたものだが、とても分かりやすく、ていねいな説明だったので、資料ではよくなっとくできなかった所もよくわかった。次に見せてもらった、塩素のタンクの所は、においがきつかったが、めずらしい物なので、あまり気にならなかった。塩素のタンクがとても大きく、めずらしい物でびっくりした。

次に見せてもらった、水と塩素をまぜる所は、天じょうに線がたくさんあり、何に使うのか、また、なぜこれだけの数が必要なのかとも不思議だった。

その次にめずらしかったのは、大タンクだった。苛性ソーダなど二種類のえきたいのタンクは、大きいのでびっくりした。このタンクは、塩素タンクよりも、ずっと大きく、それを流すパイプにも、いろいろな計機があるので「ずいぶんみつけたな」と思った。

その次は、二階で、浄水場全部が分かる部屋、ここは、たくさん機械でいろいろな音が出来るので、とても感心して見た。いろいろな機械で、安全を守る大切な部屋なので、少しきんちゃんとして説明を聞いた。

その次の、いろいろなけんさをやる部屋の人は、とてもたいへんそうだった。ここでは、魚をかって、何か調べていたが、しけんかんなども、めずらしくて、面白そうにも見えたが、そうでないらしい。

い。この部屋で何か、研究の結果が出るのかなと思った。

次の、スライドを見た時は「水は面白い通り道を通っているなあ」と感心しながら見た。

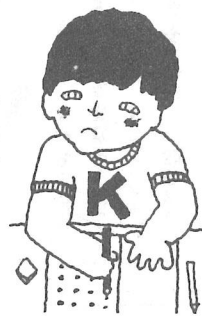
その次は、外の見学、最初に着水井で、深さが五メートルもあるのに、びっくりした。ここは、まだ水のいきおいが強かったが、これだけの水に、苛性ソーダがこんなに少なくてもいいのかなと思った。

フロック形成池では、大きな羽で、水の中をかきまぜているので、びっくりしてしまった。そのとりも、深さが四メートルあるので、びっくりの連ぞく、ここでは、水

の底が見えたが、とても深いことがよく分かり、少しこわいような気もした。

大きなパイプを、通してある所は、機械がとめずらしかった。そのパイプの回りを、機械がとりまいていて、めずらしいため、さわってみても、あまり、変わりがなかった。ここは、六メートル下にあるので、さっきの池が、どのくらい深いのかよく分かった。

最後に、外で、のこったすなのどろ水から、また水をとって、浄水場からは、すなしか出さないという所でまたまたびっくり、ここでも羽を使っているの、その羽



は、すごく大きく見えた。びっくりの連続だった。

ぼくたちが、今まで、何気なく使っていた水が、こんなにたくさん機械を使って、苦労してできたものなのだから、今までより大事に使って、浄水場の人たちに、かんしやしなればいけないと思った。

横芝俳壇

横芝句会一月例会

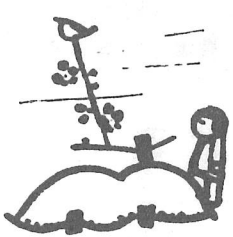
土屋 栗水
石川 奇水
成田 傑子
宇井 芝童
藤代 ゆう
津田 若菜

向後 雅子
若梅あやめ
鈴木 南知

石毛 石汀
住母家千夫

冬川のしじまに釣りの竿うごく
乗込の鮭や大瀬の水煙る
輪注連して遊びつかれの三輪車
駅裏や烟る水もて岸供ふ
油髪匂ふ隣りや初句会
厨ごとそこくにして初句会

海保恵保子
三枝 句城
木下石果子
安井ゆづる
佐久間久子
島田 柳人



白鷺の背丈に水の煙るなり
溜川へよべの雨嵩濁り来し
水煙るゆらめく鷺の影移る
冬座敷老いたる母の小さかり
次回
日時 三月四日(火)
兼題 春分 黄水仙
鈴木 要(上町)